



2023年6月26日

各位

会社名 株式会社インテリックス  
代表者名 代表取締役社長 俊成 誠司  
(コード8940 東証プライム市場)  
問合せ先 執行役員  
コーポレート部門担当 中 拂 一成  
TEL 03-5766-7070

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会におきまして、2022年7月14日公表いたしました2023年5月期の連結業績予想を下記の通り、修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想について

(1) 2023年5月期 通期の連結業績予想数値 (2022年6月1日～2023年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 42,417	百万円 930	百万円 601	百万円 420	円 銭 48.58
今回修正予想(B)	41,236	710	239	100	11.65
増減額(B-A)	△1,181	△219	△362	△319	—
増減率(%)	△2.8	△23.6	△60.2	△76.0	—
(ご参考) 前期実績 (2022年5月期)	36,139	1,364	1,061	643	74.55

#### (2) 業績予想の理由

リノベーション事業分野のリノヴェックスマンション販売において、平均販売価格が26百万円と期初計画24百万円を上回ったものの、下期の販売件数の減少により、通期での販売件数は1,152件と期初計画1,247件に対し未達となりました。これらを主要因として、当期の連結売上高は期初予想に比べ2.8%減となる見通しとなりました。

一方、利益面では、リノヴェックスマンションの仕入価格の高騰に加え、築古物件の増加に伴うリノベーションのコスト増も重なり、売上原価が増加いたしました。加えて、販売価格が、中古マンション市場価格の上昇と購入希望価格の乖離が生じてきており、価格転嫁が十分になされなかったため利益率が低下いたしました。また、営業外費用において、サステナブル・リンクローン組成に伴う融資関連費用等が増加いたしました。これらの状況を主要因として、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が、期初予想をいずれも下回る見通しとなりました。

これらの結果、2023年5月期通期における連結業績予想数値を、上記の通り修正いたします。

#### 2. 配当予想について

2023年5月期の期末配当につきましては、期初予想の1株当たり9円に変更はございません。これにより当期の年間配当予想は1株当たり18円、配当性向は154.5%を見込んでおります。

以上

(注) 本資料に記載しております予想数値は、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。